

としまボランティアセンターだより

発行：令和3年12月15日（水）

Vol. 10

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
豊島ボランティアセンター

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 区役所東池袋分庁舎4階

TEL 03-3984-9375 FAX 03-3981-2946

Eメール tomonii@t.toshima.ne.jp

URL <http://toshima-shakyo.or.jp>

月～金曜日 8:30～17:15（土日・祝日・年末年始は休み）

たいむらいん



※この広報紙は不定期発行です。いろいろ試行錯誤中ですのであたたかく見守ってください。

区内の魅力伝えます



今回は…

特定非営利活動法人 麦の家 です

地域活動支援センターⅢ型とは？

地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者の方に対して、創作活動、生産活動、社会適応訓練、余暇的事業などを行っています。

（障害者福祉のしおり 豊島区 参照）

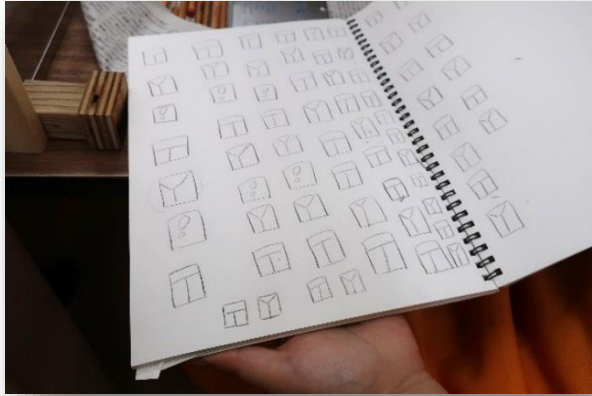
「麦の家」では、受注作業と製品制作を行っています。
主な製品は布製品で、バッグやポーチ、巾着等があります。

普段は6名程の方が作業をされており、他にも企業へ仕事をしにいく方もいるそうです。
しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、仕事が中止になってしまうこともあったとのこと。
作業スペースも仕切りで区切られていました。「狭く感じてしまうけれど、仕方ないわよね」と代表の磯崎たか子さん。ここでも新型コロナウイルスの影響を感じました。
しかしそんな中でも、明るく笑いあふれる素敵な場所でした。裏面では、製品作りの様子をご紹介します！

製品になるまで



まずは図案を決め、鉛筆で紙に下書きをします。
その後、端切れ等に絵具で練習をし、本番の布へと進んでいきます。
描いた絵は乾かすことで絵具が布に定着し、加工へと進めることができます。



↑
TとYを使った図案を練習中。
ご本人は「難しいけれど、教えてもらいながら頑張ってます」と。



↑
本当は大きな図案がお好きだそうです、今日は細かい作品を製作中。「小便小僧をドーンと大きく描こうとしたら、却下されちゃった(笑)」とのこと。
次に描きたいものが決まっているようで、早く描きたい！とお話ししてくださいました。
自信作が売れたときに嬉しいそうです。



絵具の種類も豊富です。
迷ってしまう人もいれば、お気に入りが決まっている人も。
筆と割りばしを駆使して描いていきます。



新たな製品となる予定の「ファブリックパネル」
それぞれの絵を存分に生かし、楽しむことのできる製品です。
お部屋の壁にいかがですか?!

Q. 今のお悩みや苦労はありますか？

A. 販路拡大が悩みのタネ。一番は対面販売ができれば嬉しいし、障がいがあっても売れた実感が分かりやすく、みんなのやりがいにも繋がります。地域では近所の喫茶店に置かせてもらったりしているけれども、今後も協力してもらえるところがあればぜひお願いしたいです。
食品と違ってポーチ等は頻繁に買い替えるものではないので、多くの人に知ってもらえたり、企業や団体の景品として使ってもらえたら嬉しいです。